



2011/09/16

---

自分の価値観なんてのは他人と比べること自体がナンセンスだし  
そもそも自分の価値観だって他人のちょっとした一言で変わってしまうことがあるし  
完全な自由意志なんてのは多分無くて  
他人に期待される自分の像というのがあって、そこに収まりたい自分と収まりたくない自分がいて  
その他人からの期待ももともと無責任な物だし  
自分という存在が自分や他者に認識される必要だって本当にあるのかどうかわからないし  
そんなクソみたいな自分とクソみたいな他者とのクソみたいな相互の干渉で何か生まれるかもしれないじゃん

恐れてもいいし逃げてもいいし  
本当の意味で後ろ向きの道なんてのは無くて  
ジャスト北向きの道かちょいずれてるかの違いであって  
結局いつかは死んじゃうってことを頭に入れつつ  
どんな道でも経験値は得られるんだから  
それだけでいいじゃん  
生まれたときは素っ裸なんだから  
死ぬときパンツ一枚はいてたら勝ちだとか誰かが言ってたし

誰か抱きしめに来ておくれ

2011/09/17

---

うんこした

うんこが実は本体で俺こそ排泄物なんじゃねとか

なんか寝ぼけた頭で考えてた

遠距離でまわりに寂しいアピールまき散らしてる人とか

すぐそばなのに会えない人とか

すぐ股開いちゃう人とか

いろんな人がいるけどみんな苦手

救いようの無い映画や小説

自己嫌悪と鬱の海にただよって

ただなんとなく悲しんでるだけが好き

特に何をするわけでもなく

薄い薄い時間

オナニーしてそのまま昼寝して

ふわっとした時を過ごす

もう14時

買い物に行くため坂を下り駅前の商店街に向かう

今まであんなにうるさかったセミたちも今日はこんなに静かになって

澄んだ空が湿った風の向こうに見えて

やがてアスファルトのシミが地面を覆う

スーパーに駆け込む



1730。

2011/09/18

---

救いようがない孤独で  
友人や異性と談笑しても埋まらなくて  
馬鹿みたいにアルコールを口にしたり  
馬鹿みたいに寝てみたり  
好きなように音楽を聞いたり  
好きなように歌ったりしても  
埋まらない

本当  
どうしようもない

他人にとっての自分と自分にとっての自分が乖離して行って  
他人に認められたらしさから遠ざかって行って

自分は自分で認めるしか無いと  
今まで他人に強がってきたけれど

結局自分が一番淋しがりだということに気付く

どこか遠くに出かけよう  
だれもいない所へ  
そこならきっと孤独を忘れさせてくれる

すこし  
泣いてみよう

2011/09/19

---

眠い眠い眠い

ああもう

太陽に邪魔されて宅配便のチャイムに邪魔されて隣人の喘ぎ声に邪魔されて足がつって邪魔されて友人からの飲みの誘いに邪魔されてメールの着信音にじゃまされてセミの鳴き声に邪魔されて

ああもう

ああもう

一人にしてくれ

いまは一人にしてくれ

起きました

嫌な一日の始まりですよ

外には誰もいないけれど

捨てられたのは僕でした

一人で勝手に好きになって  
一人で勝手に舞い上がって  
一人で勝手に嬉しくなって  
一人で勝手に悲しくなって  
一人で勝手に寂しくなって  
一人で勝手に枕を濡らして  
一人で勝手に勇気をだして  
二人で一緒に嬉しくなって  
二人で一緒に楽しくなって  
二人で一緒に手をつないで  
二人で一緒に悲しくなって  
二人で一緒に気まずくなって  
一人で勝手に意地張って  
一人で勝手に虚勢を張って  
一人で勝手にあなたのことを考えて

そして最後に、二人で一緒に進む道を決めて  
別々の道を歩いて行こうと

2012/07/05

---

ただいま

...おかえり



2012/07/07

---

ふとしたきっかけで立ち寄った定食屋。

私が100年ぶりの客なんじゃないかと思うくらい活気がなく

疲弊した店主夫婦の顔と手には深い皺が刻まれ

駅前のチェーン店とまったく対照的。

店の雰囲気、ついセンチメンタルな気分になってしまう、16:50